

ハーバート G. ブラウン 会長 紹介



Herbert G. Brown

1995～96年度 国際ロータリー会長
ハーバート G. ブラウン
Herbert G. Brown

1923年 (大正12年) ルイジアナ州イオタ生 (72才)
ルイジアナ大学 言語実践学

1945年 (昭和20年) ロータリー入会 (22才)
現: フロリダ州クリアウォーターRC会員
40年間完全出席率を維持

1978～80年 国際ロータリー理事

1983～86年 ロータリー財団管理委員

米国20州に325のレストランと25,000人の従業員とを
有するチェッカーズ・ドライブイン社の取締役会長

ブラウン会長の名句の紹介

ブラウン会長の講演の中に感銘深い名句がありましたので、これらの中の数句を取り上げて考えてみたいと思います。

① Peace must begin with each of us. When there is peace in the heart, there is peace in the family. When there is in the family, there is peace in the village. When there is peace in the village, there is in the country. When there is peace in the country, there is peace in the world.

② Probably the best thing that society can do is to make 'parent' an honorable title again.

これは正に東洋思想の根元である孔子、孟子の儒学に出てくる「修身、齐家治国平天下」(礼記)を意味するものであり、彼は更に社会のなすことの出来る最善の方策は、再び「親」という肩書きを尊敬すべきではなからうか。と述べています。

③ A leader's strength, knowledge, and experience are the attributes of sacrifice that can be offered to all. Only those leaders who sacrifice themselves become great. The questions maybe... Can we sacrifice our time? Sometimes even our popularity.

リーダーの能力・知識・経験はすべての人に捧げることの出来る犠牲より生まれるものである。こうしたリーダーのみが偉大なリーダーとなる。時間を捧げることが出来ますか? 人望さえも犠牲にして異存はありませんか?

この言葉は正に老子・荘子の「無為・無名・無功」の哲学に通ずるものであり、ロータリーの精神に古来の東洋哲学が生かされていることに新しい感激を覚えました。

ハーブ・ブラウン会長からのメッセージ

ロータリアンの皆様に対し、心からのご挨拶の言葉を述べさせていただきます！

ロータリーは、常に、理想のビジョンを夢見ることが出来る人々、夢の実現に向けての道を切り開いて行く夢想家たちの集まる場所でした。私達のクラブや地域社会で、私達は、世界中の全ての文化、人類、宗教の人々のために、私達の夢を実現させて行きます。

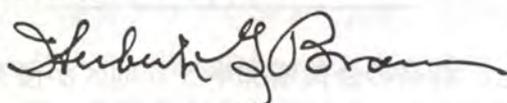
ロータリアンであることとは、自らを他の人々への奉仕に捧げるということの意味します。私達の行動が、満たされていないニーズと、成就された願望との間のギャップを埋めることが出来るのです。ロータリー奉仕において、真心の行動を行なうことによって、私達は、世界をよりよい場所とすることへの献身を強調する、豊かな心を実証することになるのです。

プログラムへの参加が直ちに成果をもたらさないと、新クラブ会長と新会員は、時として、落胆することがあります。私達の奉仕への投資は、初めは、稔りの無いものであるように見え、奉仕の可能性の数に圧倒されてしまうかも知れません。でも、がっかりしないで下さい。どのようなニーズがあるか、どのようなロータリー・プログラムを選択出来るか、クラブと地域社会の資源をどのように組み合わせる事が出来るかを、慎重に考慮して下さい。多くの場合、一度に一步ずつ進むことが、継続的成功を納める重要な秘訣となります。ロータリーのプログラムに参加することは、私達のビジョンの実現へ近付くための重要なステップとなるのです。

あなたが実行したステップ、選んだ選択、あなたを奮い立たせた夢について、私に知らせて下さい。自らのビジョン、エネルギー、そして自分自身を捧げるように、他の人々を奮い立たせることが出来るのは、このような心のこもったアイデアを分かち合うことによってなのです。共に、私達は、お互いから学び合い、私達の希望の多様性と広大さの価値を認め合うことが出来るようになるのです。

本書のページを読み進みながら、皆さんが、夢を見るように奮い立たされることを、また、あなたの家族の中で、クラブで、地元社会で、また、私達の住む世界の中で、夢をよりよい将来の希望へと変えて行くための大胆な行動に必要な勇敢な選択を行なうよう奮い立たされることを祈っています。

心を込めて、



ハーバート・グラハム・ブラウン
1995-96年度国際ロータリー会長

1995～1996年度 RIのテーマ・目標



真心の行動

慈愛の奉仕

平和に挺身

Act with Integrity
Serve with Love
Work for Peace

RIのテーマについて

ドン・キホーテは見果てぬ夢を追う人でした。不正を正し、遠き星を目指して前進を求めつづけた人でした。

朋友、ロータリアンの皆さん、私たちも崇高な夢を見る者であらねばならないのであります。ドン・キホーテの武器はさびた槍とやせた馬とでしたが、私たちは真心の行動・慈愛の奉仕・平和への挺身という三つの武器をもっています。テーマの文句はすべて行動を喚起する動詞ではじまっています。夢見るだけでは何も実現されません。夢を抱く限り、その夢を実現するための努力と献身とが伴わなければなりません。

更にこうした高い志をもつ120万のロータリアンの手が、崩れようとする世界を地球を支えているのが今年のテーマの図案です。

現在地球では、ルワンダ・ソマリアの内乱、ポリオ・エイズの猛威、河川・海洋汚染とほっておけば益々崩壊の途を進んでいます。ポリオの恐怖はポリオプラス運動によって20世紀の終わりまでには根絶させると云える様になりました。

尚、真心の行動・慈愛の奉仕・平和に挺身に対する1995～96年会長賞が企画されています。

主要目標について

カルガリーへの挑戦 The Calgary Challenge

地球を支えるロータリアンの数が増える程、果てしない夢の実現が可能になるわけです。ハーバート会長はこの点を固く信ずるが故に会員増強を最優先目標にかかげました。その達成を目指す、“カルガリーへの挑戦”と呼ぶ特別プログラムが発表されました。まず地区ガバナー・ノミニーは、各クラブの次期会長と力を合わせて1995年7月1日から96年1月1日までの間の会員純増の目標を設立し、96年4月21日までにRIに報告し、RI会長エレクトは本年6月14日のニースの本会議において全世界における会員増強の目標数を発表します。

地区ガバナーは会員増強の半期報告書を1996年2月23日までにRI事務局への提出が義務づけられています。

3月下旬に世界本部において集計し、最高の会員増加率50地区が優秀地区として選ばれ、優秀クラブ会長と優秀地区ガバナーとは、大会本会議のステージの上で特別の表彰を受け、又最優秀のクラブ会長と地区ガバナーとは配偶者同伴でカルガリーにRIの経費で招待されます。